五位組夏休み子ども大会

珉照寺 住職 山岸智史



お堂で元気に走り回る子供たち

ほ

開催されています。

2018年 (平成 30 年) 9月15日

念仏のこころに生きる生活を

净土真宗本願寺派 高岡教区 五位組

題字・織田隆夫

どでグルー たち 職の織 どの子供たちがおかわ を過ご また、けん玉ショーの後には「 があったりと盛りだくさんで もけん玉に挑戦 ムの他に、アディさんのけ 田 しました。夕食のカレ Eさんのお話の終 恒例の肝だめて 度織田さんから お互い きま たりと楽し お話を お 長光· 助 てまし 勤 兀 ほと ライ 8 供

子ども大会が開催され寺にて二十回目となる五 そんな中、 ましたが、 ちが集まって楽しい思い出を作って 寺単位で日曜学校(子ども会)を いという願いから、 月 するのが困 日曜学校という形でお勤 九 たり、色々と遊んだりしてい お寺に近 日 近年は子供の人数もだ 回目となる五 一回でもお寺に子供 難になってきました。 隣の子供たちが 尚 組の行 町 まし 位 組 事 夏 数休珉 8 少 集 いきたいと思います。 のことを第一に考えながら継 感謝申し上げます。 会や壮年会(一 す。また、今回は珉照 でなく、五位組門徒総代会 くことができました。この場を借

のご協力も頂き開

催

7

徒 1

如会)

のご協力

協力

も婦

頂人ま

今後も子供たち

ŋ



夕食 カレー



お勤め 恩徳讃



けん玉ショー



ゲーム

ていただき、 、会は終了 この夏休み子ども大会は僧 んなで恩 徳讃を歌

ク

ラシ

が章

でまとめ

たも

「大正 ものだ だ

今回

は第四

「歴史講座を振り返って」

性宗寺 若院

中山法樹

る。 た氏西赤 と百し年 \mathcal{O} 歴 年 派 9 の歴 今年度は七日産史をふり返り て、文字どおり真 \mathcal{O} 夜七時よ 歩み」をテ 尚 区 ク 五. ŋ 矢福四つて キ学宗行 お財本事 玄 ト団願の独 亮市町日い宗

テキスト

宣言」の途中まで講覧を 進んだ。部落問題や についての話には、 についた様子で、この問 が持っている根深を 実感させられた。浄土 家の歴史を足がかりた の生きざまを検証し、 の生きざまを検証し、 の生きざまを検証し、 るうというように、今 はやや熱を帯びたの はやや熱を帯びたの はやや熱を帯びたの はやや熱を帯びたの やっく地元の ま ざきま や北元 感じ 五. るこのよう きかのヒントを 性 ŋ 活動 かりに、 で ま 間持

三日市

ます。この三日市は

る緑豊かな田

園

地

前には

部

川地

が点

伏方

港

位源

出

 \mathcal{O}

小町

矢

が

米を

の理

廻し

ま

自坊紹介

江畠山



光源寺

一六五五 棟と、三間 める米蔵 録によると、 わせ 年) 7 兀 に十二 四 が 加 間 間 が に日市 日 設 が 暦 \mathcal{O} 間に年元 棟が建 貢 年

この名前がついたようでの日に市が開かれていたの 古くから あ流に部西 れあ 三町申 を提供 りに 光源寺 す真言宗の寺でし 来ており、 たとあります。 は、元は法曼院 米 代 で言が時 Ė Þ 見

転派し、 で今から二百 三月 茂 福 岡年時 Ш +) 初代善性!! 市 町 がなく、 から三日 栃丘 に移転 。その後浄土真宗に栃丘の地に創設され 尚 善性師に 加茂 人の 市 ま 言い Ш \mathcal{O} によっ 前 移 兀 と伝えはた。移り て九室

任の日まで精進していた事に感謝し、遠くなたなに支えられ今日に大々の世話役・門信増築等、今は亡き前住 の法要・本堂の改築・庫ます。この間宗祖親鸞 々に支えられ今日に 現在私は十七代目で 遠くない 住職 徒 · 至 退 のや

中保

十月十六日 朝 九時三十分

二時三十分 顕正

高岡市泉町

※ 十四日は永代祠堂経法要

法話 射水市市井

十月十五日

朝 九時三十分 昼 一夜 七時

時三十分

師

時三十分

報

四日市

十月十四日 朝

講 恩 案

内

向田

※ 三十日は永代祠堂経法要 法話 高岡市内島

各寺院の日

程

順に記載してあります。

九月三十日 朝 九時三十分 昼 一時三十分

十月四日 站 小矢部市西中 " 朝 九時三十分 昼 一 師

十月十二日 朝 九時三十分 射水市市井 昼 一時三十分 公文名 眞 師

十月二十三日 朝 九時三十分 昼 一時三十分十月二十二日 昼 一時三十分 夜 七時

三日市

高岡市佐加野 磯原

九時三十分

昼 一時三十分

氷見市:

脇

西

十月二十六日 朝 高岡市内島

佐加野 十月二十七日 朝 九時三十分

高岡市内島

法英 師

十月三十一日 朝 九時三十分 昼 一時三十分十月三十日 昼 一時三十分 夜 七時 高岡市佐加 磯原

どうぞお誘い合わせの上、お参りください。詳細については、各寺院にお問い合わせ下さい。

法話 高岡市伏木 十月十七日朝,九時三十分十月十六日昼一時三十分 山 名 昼 一徳

十一月二日

夜朝昼

七時

九時三十分一一時三十分

昼

時三十分

氷見市布施

朝

九時三十分

昼一

十一月一日

立野

十月二十一日 朝 九時三十分十月二十日 昼 一時三十分 小矢部市興法寺 丌 昼一 証 時三十分 師

麻生谷 西光寺

笹川 十一月五日 廣済寺 夜 朝 七時三十分

昼

時三十分

十一月六日 高岡市 伏木 九時三十分 昼 一時三十分 山名

十一月八日 十一月七日 九時三十分 昼 時三十分

九時三十分 昼 一時三十分 寺西

※ 法 击 十一月十七日 朝 十七日午後は 高岡市伏木 九 九時三十分 A 昼 一時三十分 R 夜 七時

仏教壮年会(一 如会 五. 十周 年記念法 要

法話 富山市婦中町十一月二十三日 朝 九 時三十分 昼 一時三十分

研

ځ

ょ

<

組おり

「寺院と連り」とは、

を連

推進

員

連研の願い

をとり

*および各寺でを言いるがら教化活動

連す

が研

 $\neg \mathcal{O}$

人は

え団

朋親背景

団聖に

との

あは教教

言

全まえにの

い同

うこと

が

り

O

教団

は

珉照寺 住職

山岸智史

さお一講研 n り五 ま 位 関が開講なここ六名の わたって 門組 進 昭 開講れ、連員養 れ さ ま 成十 よ受れでを連四

り々

ます。

体

は

うなお続して、マ

いそ歴

が続

克

抱差的

え別積

ŧ

区た連信侶んた研推や、研徒研のめ修進 た研推です。 徒 研 と 修会も兼 の 研修 で 、 門信 に は 、 に は 、 研 こ言えるでした。とは、組に、組に、組に、組に、 研修では、門信件 徒成第 を す一 るに 学がければ あ獲 よう。と り得た「 る ますめ門 い推携教まが門僧せるの徒

> 連宗団なれりのあ人を被面研のを中た、はりかも美的 な中、「本来の浄土声れたとは言えませんり、それらの問題が ん一研のを 本 取 にあります。
> 本来化」という願いり戻そう」といっ 、 う のそ服ての更ら信 1 が真教んさお時がの徒た

ま か緒 ? に 加を今研 募 年修 集 し を 受 す。 お 待 ちま末け 申しってみ て多よま

りせ

連研・問題提起 (講師より)

連研・班別話し合い 車座

五位組行事予定

·徒推進員養 連続研究

日程 全十二回

三月八日 十四四

運 動 研

> 後 記

は、 日 \mathcal{O} は ゆ

条憲法」で「篤くを敬え」と説き、 寺の創建などの 寺の創建などの え、すばらしされ え、すばらしされ えくださいまし えくださいまし がとを平等に対 いう一乗仏教の いま改めて、この の宗教的信念を しめているもの 人仏教 で あの帰子 りまなし、なない。 念を をひ ので 信の救て 願た たをおり数 カ うの で噛先す念教 事法 ⁷。かえと人親伝教業隆

五位組だより 第17号 平成30年9月15日発行

発行所 五位組組長事務所 (土屋 珉照寺内) / 編集・製作 五位組門徒推進員協議会